

介護テクノロジー等シンポジウム

福祉用具・介護テクノロジー 実用化支援事業の実施について

【内 容】

1. 事業の位置づけ
2. 全体の概要
3. 各事業の実施結果報告(令和7年度)

◆日時:令和8年1月30日(金) 13:50~14:10
◆場所:TOC有明(東京都江東区有明) 4階コンベンションホール

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵

The Association for Technical Aids(ATA)

1

介護テクノロジー開発等加速化事業 (旧:介護ロボット開発等加速化事業)

老健局高齢者支援課 (内線3969)

令和7年度概算要求額 9.2億円 (4.9億円) ※ ①内は前年度当初予算額 (参考) 令和5年度補正予算: 3.9億円

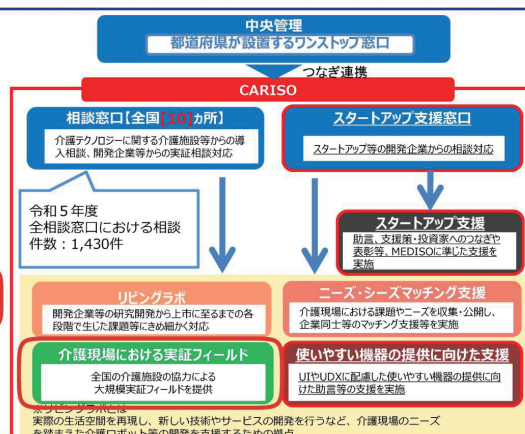
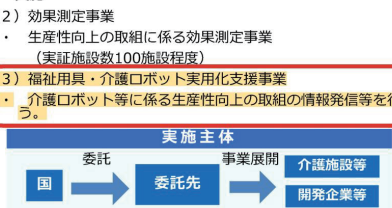
1 事業の目的

(※) 下線は令和7年度拡充分

- 介護現場の業務効率化を進めるため、テクノロジーの活用を推進しているところであるが、介護現場に対する導入資金の支援だけでなく、介護現場におけるテクノロジーへの理解を促進し、開発企業が介護テクノロジー市場に参入しやすい環境を整備する必要がある。
- 本事業では、①介護施設・開発企業双方からの介護テクノロジーに関する相談窓口や開発実証を行う等の「開発・実証・普及広報のプラットフォーム」を運営するとともに、②介護ロボット等の導入効果に係る大規模実証、③介護ロボットに関するフォーラム等による情報発信を行う。
- また、R6年度まで本事業で設置していたリビングラボ等を発展的に見直し、CARISO (CARE Innovation Support Office) を立ち上げ、スタートアップ支援を専門的に行う窓口設置を含め、研究開発から上市に至るまでの各段階で生じた課題等に対する総合的な支援を行う。

2 事業の概要・スキーム、実施主体等

- (1) 介護テクノロジーの開発・実証・普及のプラットフォーム事業 (CARISOの立ち上げ)
 - 相談窓口の整理 (全国15→10箇所) とスタートアップ支援窓口の設置
 - 投資家とのつながりや表彰等、MEDISOに準じた支援や、使いやすい機器の提供に向けた支援を実施
 - 地域における介護生産性向上総合相談センター(基金事業)の支援事業(中央管理事業)
 - 2025年大阪万博での効果的な取組の情報発信に係る展示の実施
- (2) 効果測定事業
 - 生産性向上の取組に係る効果測定事業 (実証施設数100施設程度)
- (3) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業
 - 介護ロボット等に係る生産性向上の取組の情報発信等を行う。



The Association for Technical Aids(ATA)

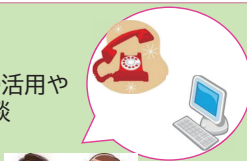
2

【具体的な取り組み内容(令和7年度)】

相談窓口の設置

介護テクノロジーの活用や
開発等に関する相談
窓口を開設

- 電話による相談
- 来協による相談
- オンラインによる相談



実証の場の整備

実証に協力できる施設・事業所
等をリストアップし、開発の状態
に応じて企業等へつなぐ

- ホームページにて募集
- モニター調査や開発実証フィールドへの
協力要請（1,343か所）



モニター調査等の実施

介護現場のニーズをふまえた
介護機器の開発支援に係る
取り組み

- 介護現場と開発企業の意見交換(10件以上)
- 試作介護機器へのアドバイス支援(15件以上)
- 介護テクノロジー等モニター調査(10件以上)



普及・啓発

国民の誰もが介護テクノロジーに
ついて必要な知識が得られるよう
普及・啓発を推進していく

- 介護テクノロジーメーカー連絡会議
- 介護テクノロジー等活用ミーティング
- 介護テクノロジー等シンポジウムの開催
- 介護テクノロジーの試用貸出リスト
- 介護機器の安全利用に関する整理・報告・発信 等



調査の実施

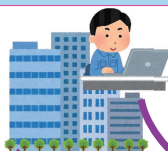
- 介護テクノロジーの開発・導入に係る助成事業の調査(5月、11月 年2回実施)
- 介護テクノロジー導入支援事業等に係る実態調査(8月、1月 年2回実施)

The Association for Technical Aids(ATA)

3

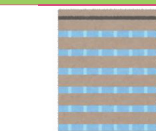
介護施設と開発企業のマッチングを図る

【開発企業】



- 自分たちが持っている
技術が介護現場で役立
てられるかな？
- 実際の現場でモニター
調査をおこなってみたい
な。

テクノエイド協会



マッチング支援



【介護施設】



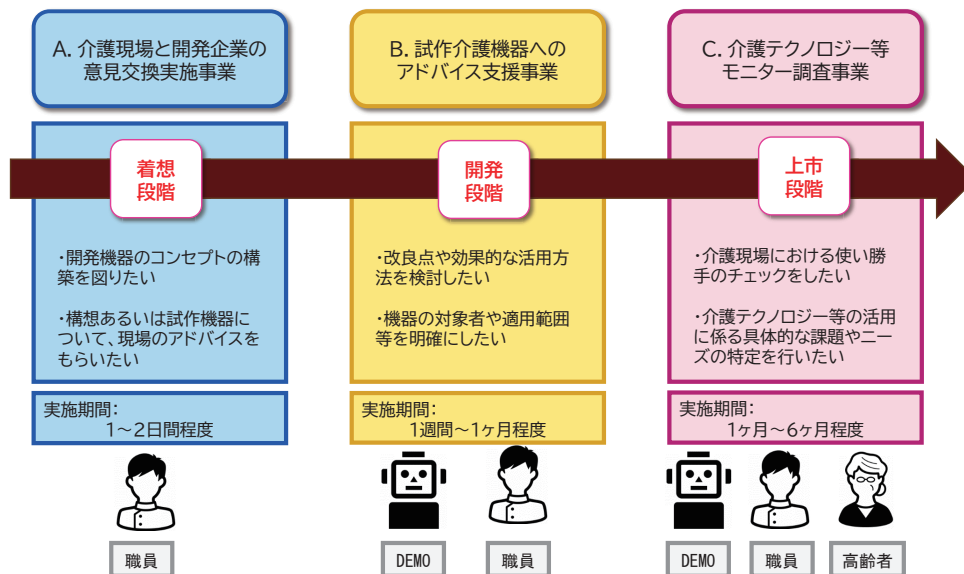
- 機器開発に参加して、
貢献してみたいな。
- これから導入を考えて
いるけど、新しい技術や
機器を体験してみたいな。

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護テクノロジーの開発が促進されるよう、開発
の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場でのモニター調査等を行
い、介護テクノロジーの実用化を促す環境を整備する。

The Association for Technical Aids(ATA)

4

開発段階に応じた3つの事業を実施

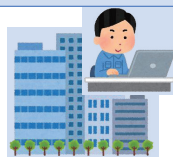


The Association for Technical Aids(ATA)

5

事業へ参加するメリット

【開発企業側】



- ・企業が持っているシーズを活かすための方法を確認することができる。
- ・現場の生の声を聞くことができる。
- ・開発中の試作機器を試し使いしてもらうことができる。
- ・成果報告の冊子に掲載されるので、幅広くPRすることができる。
- ・施設と繋がりを持つことができ、モニターや実証の場が広がる。

【介護施設側】



- ・最新の福祉用具・介護テクノロジーに触れることができる。
- ・現場の声を企業に伝えることができる。
- ・福祉用具・介護テクノロジーへの職員の関心を高めることができる。
- ・国の事業に参加することで、職業意識(モチベーション)や施設の魅力を高めることができる。
- ・実証協力費を得ることができる。

The Association for Technical Aids(ATA)

6

専門職が評価している場面①



The Association for Technical Aids(ATA)

7

専門職が評価している場面②



8

福祉用具・介護テクノロジーの開発と普及の作成



テクノイド協会ホームページ
開発と普及

<https://www.techno-aid.or.jp/robot/kaihatsu2024book/index.html?pNo=1>

The Association for Technical Aids(ATA)

本書は、開発コンセプト段階の機器から実用化手前の機器において、専門職からのアドバイスやモニター手法および、その結果を示しており、**今後本分野に参入する企業等の一助となるよう情報を収録している。**

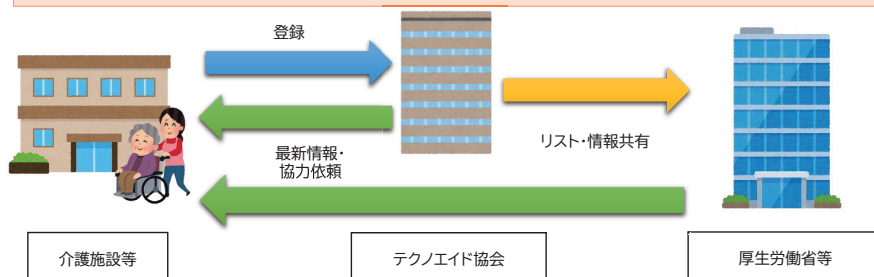


9

福祉用具・介護テクノロジーに係る開発・実証フィールドの整備

目的

介護テクノロジー等の開発・実証フィールドを募集し、介護テクノロジー等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的とする。



区分	件数
1. 介護施設等	1,292 件
2. 都道府県・市町村	51 件
合 計	1,343 件

(令和8年1月時点)

【リストの活用】
○介護テクノロジーの最新情報を提供
○登録情報を厚生労働省等と共有

The Association for Technical Aids(ATA)

10

12

介護テクノロジー等活用ミーティング

目的

介護テクノロジーの導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護テクノロジーの効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を推進することを目的とする。

11月				
25日(火)	26日(水)	27日(木)	28日(金)	29日(土)
13時～15時(オンライン開催)				
開催テーマ				
A	B	C	D	E
介護機器等を活用した生産性向上の取組みを推進しよう	介護機器等を活用した安心・安全な介護を実現しよう	介護機器等を活用するICT/DX化を推進しよう	デイサービス等における訓練・介護機器等の導入・利活用を考えよう	居宅介護サービスにおける介護機器及びICTの導入・利活用を考えよう

【参加申込数】

25日	26日	27日	28日	29日
300名	219名	223名	157名	138名

セッション1

○介護テクノロジー等に関する最新情報
厚生労働省

○都道府県における生産性向上に関する取組状況
NTTデータ経営研究所

○利活用に伴う工夫や課題、アイデア等
介護施設・企業等

個人ワーク

○現状と課題、発言内容の整理

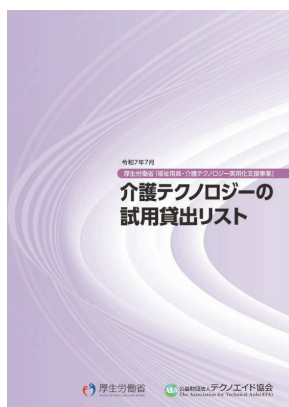
セッション2

○フリーに意見交換や情報交換を実施

The Association for Technical Aids(ATA)

13

介護テクノロジーの試用貸出リスト(相談窓口等を通じて問合せ)



掲載企業:81社

リストのダウンロード

https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab33_detial

The Association for Technical Aids(ATA)

本リストは、厚生労働省が実施する都道府県における生産性向上の取組に関する調査及び普及支援(中央管理事業)において設置する窓口及び、介護生産性向上総合相談センターのワンストップ窓口等窓口等において、**開発企業と試用貸出を希望する介護施設等の取次等で活用される。**
また、協会ホームページ等で広く周知する。



福祉用具・介護テクノロジー試用貸出事業(直接、開発企業へ問合せ)

貸出機器情報

※下記一覧の貸出欄に“○”が付いているものが貸出可能な機器となります。
 ※機器の貸出を希望される場合は、詳細情報PDFに記載の「メーカー問合せ先」へ直接お申し込みください。
 ※貸出の条件(期間、料金など)はメーカーや機器ごとに異なります。詳細は直接メーカーへお問い合わせください。






【一時貸出】・・・イベントや研修会等での数日間の貸出 【試用貸出】・・・機器の導入を前提とした長期間の貸出

011 移乗支援(装着) (8件)	012 移乗支援(非装着) (16件)	021 移動支援(屋外) (2件)
022 移動支援(屋内) (1件)	023 移動支援(装着) (0件)	031 排泄支援(排泄物処理) (2件)
032 排泄支援(排泄予測・検知) (3件)	033 排泄支援(動作支援) (3件)	041 見守り支援(施設) (30件)
043 見守り支援(兼用) (8件)	050 入浴支援 (6件)	060 コミュニケーション支援 (6件)
070 機能訓練支援 (4件)	080 服薬支援 (0件)	090 認知症生活支援・ケア支援 (1件)
100 食事・栄養管理支援 (0件)	110 口腔ケア支援 (1件)	120 介護業務支援(情報共有、...) (5件)
130 介護業務支援(移動、...) (2件)	140 体位変換・床ずれ予防支援 (1件)	150 レクリエーション (5件)
160 聴覚支援 (2件)	170 視覚支援 (0件)	300 その他 (1件)

フリーワード

検索

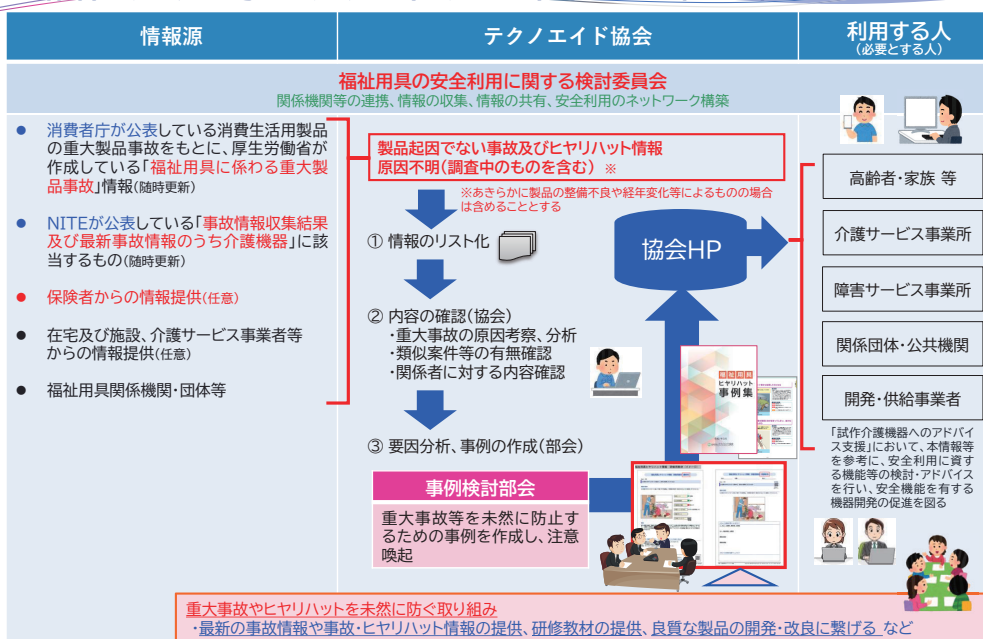
クリア

登録No.	製品画像	機器名称/メーカー名	主な特長	詳細情報/動画	一時貸出	試用貸出
011 移乗支援(装着) 戻る						
011-240084		Apogee+(アポジー・プラス) パワースーツ GBS株式会社	German Bionicの第6世代製品となる移乗用パワースーツ Apogee+(アポジー・プラス)は、最大30Kgの持ち上げ支援を提供する国内で入手可能な機器として最もパワフルな製品です。	 	○	○
011-240082		介護専用アシストスーツ J-PAS fleairy (ジェイパスフレアリー) (株) ジェイテクト	装着者の動きを検知し、モーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブ型アシストスーツで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。		-	○

The Association for Technical Aids(ATA)

15

福祉用具等の安全利用に関する取り組み



The Association for Technical Aids(ATA)

16

福祉用具等の安全利用に関する取り組み

「事故・ヒヤリハット情報」の情報収集を行っております

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

最新の事故情報と安全な利用を推進するヒヤリハット情報を提供いたします

お知らせ NEW!

- 2026.01.14 【外部リンク】令和8年度障害者自立支援機器等開発促進事業
- 2026.01.13 【外部リンク】「ひと・まち・ふくし MeetUp」開催のご案内
- 2026.01.13 【外部リンク】「ひと・まち・ふくし MeetUp」開催のご案内
- 2026.01.07 令和8年度障害者自立支援機器等開発促進事業に係る公報説明会
- 2026.01.05 【外部リンク】「製品安全対策委員企業表彰（+あみん）」

自立支援機器を活用する就労支援プロジェクト

- 2025.10.02 就労支援プロジェクトの実施機器を更新しました
- 2025.09.18 就労支援プロジェクトの実施機器を掲載しました
- 2025.07.07 公報説明会の動画を掲載しました
- 2025.05.12 自立支援機器を活用する就労支援プロジェクトの公募について

福祉用具・介護テクノロジー実用化支援事業（厚生労働省） NEW!!

- 2025.12.19 介護テクノロジー等シンポジウムの開催について NEW!!
- 2025.12.11 介護テクノロジー等の開発・導入助成制度の調査結果について
- 2025.11.13 介護テクノロジー等シンポジウムへの出席を募集いたします
- 2025.10.01 介護テクノロジー等活用ミーティングの開催について

障害者自立支援機器「ニーズ・シズマツチング交流会2025」

- 2025.11.20 電子版パンフレットを公開しました
- 2025.10.01 Web開催がスタートしました（令和8年1月31日まで交流が可能）

福祉用具関係はこちら

- 補聴器関係はこちら
- 福祉用具プランナー情報システム
- 福祉用具 eラーニング講座（どなたでも受講できます）
- 福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報 NEW!**
- 福祉用具情報システム（TAIS） NEW!
- ・用具検索（19,108件）
- ・企業検索（941社）
- ・TAISへの情報登録（令和8年1月16日現在）
- （※）介護テクノロジーを含む。
- 生活便利用具 NEW! データベースシステム

The Association for Technical Aids(ATA)

17

サイト内検索

協会紹介 アクセス リンク著作権・免責事項 個人情報保護方針 情報公開 賛助会員 リンク集 事業一覧 各種システム 調査研究

最新事故情報

消費者庁、NITEが公表する最新の事故情報と都道府県等から情報提供された件数や特徴を掲載しています

福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報

この『福祉用具「事故・ヒヤリハット」情報』は、福祉用具及び介護テクノロジーの利用にかかわる「事故及びヒヤリハット情報」を収集し、その要因分析及び処置を行い、介護現場で起こる可能性のある事故や怪我などを未然に防止することを目的としたものです。

Case:342 便器固定型の手すりの脚部に垂いすのキャスターが

Case:193 幼児が潜り込んでいたり、ゴミ箱があることに気づ

Case:128 段差解消機のスロープにさしかかったところで、後

最新事故情報 事例検索 事例集 情報提供のお願い 情報の取り扱い リンク集 研修教材 お知らせ

The Association for Technical Aids(ATA)

18

厚生労働省、消費者庁、NITEが公開している
介護機器に係る事故及びヒヤリハット情報

都道府県等を通じて
情報収集した事故及びヒヤリハット情報

1. 最新事故情報の検索

厚生労働省

福祉用具に係る重大製品事故について（令和7年11月27日現在）（PDF：892KB）
福祉用具の重大製品事故報告に係る情報提供について（令和3年3月5日付 厚生労働省 事務連絡）（PDF：105KB）

消費者庁

事故情報データベースシステム

生命・身体被害に関する「消費生活上の事故情報」を公開。

SAFE-Lite（セーフ・ライト）

独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）

製品事故に特化したWeb検索ツール。感覚的な言葉から事故情報を検索、製品事故リスクへの気づきに活用。

NITE SAFE-Lite

事故区分 ▶ 重大製品事故 ▶ 重大人身事故

フリーワードで探す

フリーワードを入力してください

検索条件から探す

The Association for Technical Aids(ATA)

19

消費者庁HP

事故情報を閲覧する

※ 事故情報データベースから、検索・閲覧が可能です。

※ 検索の検索条件をすべて指定して検索できます。何人にも対応して検索すると、全ての事故情報を知ることができます。

登録件数 (1421年9月～)

417,630件

フリーワードの入力

検索する

詳しい条件で検索する

NITE SAFE-Lite

事故区分

☒ 重大製品事故
 ☒ 非重大製品事故

フリーワードで探す

「例：スマホ 熱い」など検索したいキーワードを入力して検索します。

検索

クリア

電動車いす

検索条件から探す

詳しく検索したい方は、こちらから検索してください。

事故情報データベースからのお知らせ

現在、お知らせはありません。

注目事故情報リスト

- ▶ システム電源内蔵充電器の事故
- ▶ 高齢者の事故
- ▶ 自転車乗車中の事故
- ▶ その他、10歳未満の事故

関係機関からの注目情報・お知らせ

- ▶ 注意！見直し
- ▶ システム電源
- ▶ ガラス繊維強化プラスチック
- ▶ 鋼・鉄製モーター

1. 0000511285 - 介護ベッド用手すり

発生場所：千葉県
事故の発生：その他
事故の被害：使用者（80歳代）が当該製品の取付に配慮がなかったため発生。発生後、当該製品に取付するもの、他の製品が不要、修理、修理を要する
発生年月日：2025年06月09日

2. 0000517089 - 電動介護ベッド

発生場所：東京都
事故の発生：その他
事故の被害：使用者（電動介護ベッド）を輸入、取付前に確認したが、シットパッドと座席部分の間に隙が空いたため、クッションが外れたとされている。
発生年月日：2025年06月09日

3. 0000516823 - 介護ベッド用手すり

発生場所：東京都
事故の発生：その他
事故の被害：介護施設で使用者（100歳代）が当該製品の取付のインストールとフレームとの間に指を挟み、次事故を負った。当該製品の使用状況を要、修理、修理を要する
発生年月日：2025年05月29日

4. 0000513953 - 介護ベッド

製品評価技術基盤機構 (NITE)消費者庁HP

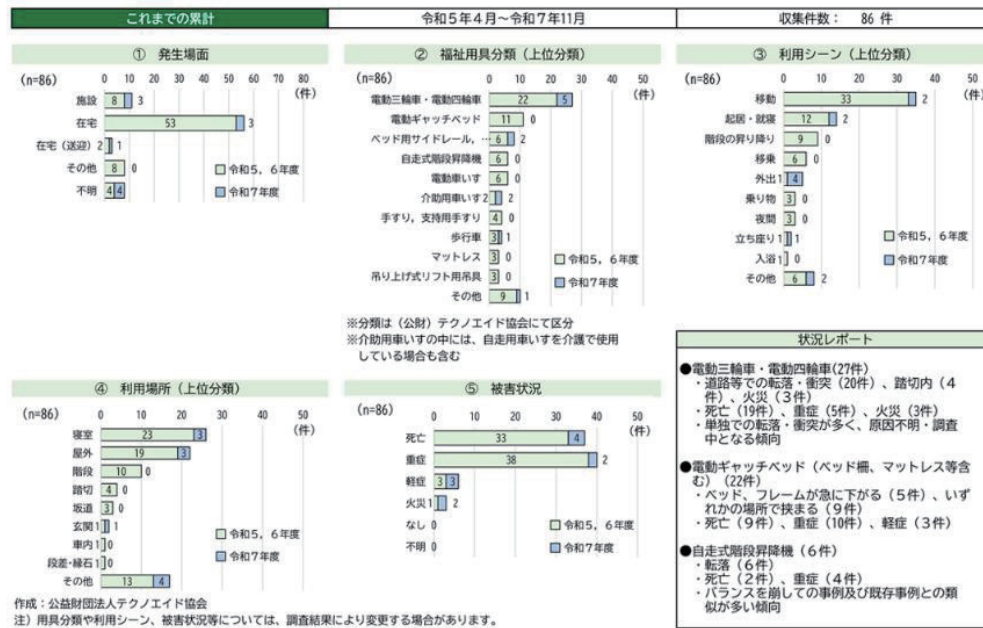
※ 製品事故に特化したWeb検索ツール。直感的な検索から事故情報を検索、製品事故リスクの気づきに活用。

生産番号	事故発生日	品名	型式情報	事業者名	事故通知内容
A202300123	2023/04/20	電動車いす（ハンド品型）	（空白）	（空白）	使用者（80歳代）が当該製品を使用中、当該製品ごと運に転倒した。（事故発生地：東京都）
A202300036	2023/04/10	電動車いす（ハンド品型）	（空白）	（空白）	使用者（80歳代）が当該製品を使用中、座席下に列車にはねられ死亡した。（事故発生地：京都府）
A020100698	2022/12/09	電動車いす（ハンド品型）	（空白）	（空白）	当該製品を使用中、座席を運りながら歩行中に下りてきた道新橋に引っかかって転倒し、列車にはねられ死亡した。（事故発生地：大阪府）
A201700360	2017/08/23	電動車いす（ジョイスティック型）	（空白）	（空白）	使用者（70歳代）が当該製品で走行中、前方に歩行者に衝突し、右腕を負傷した。（事故発生地：京都府）
A201600167	2016/09/19	電動シヤッター（座）	タイプ	（株）T Y T	使用者（80歳代）が座席に出ようとしたところ、当該製品が下りてきて座り、顔面を負傷した。（事故発生地：東京都）

The Association for Technical Aids(ATA)

20

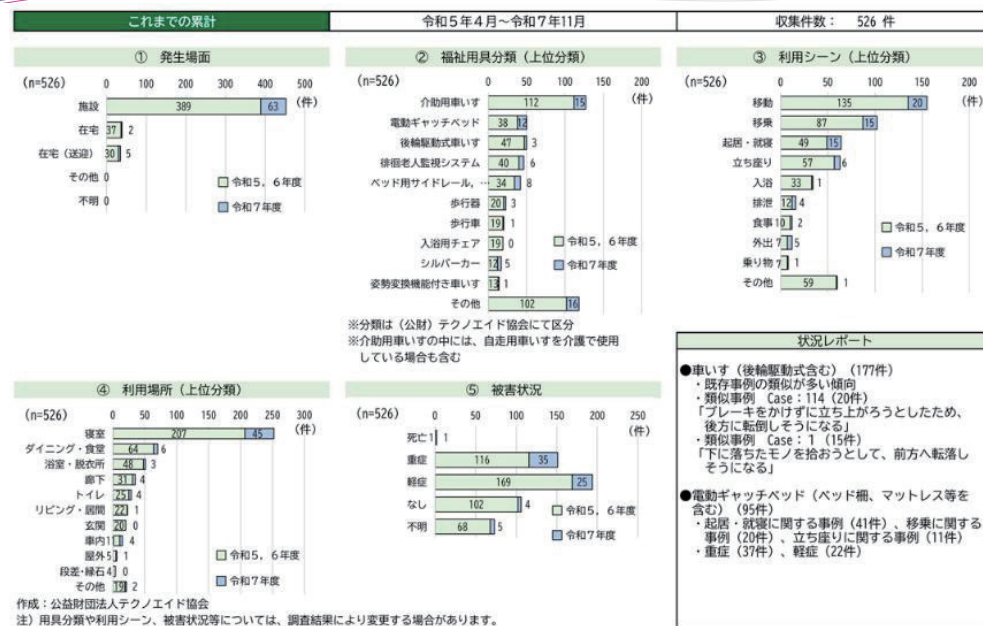
2.最近の傾向(消費者庁やNITEが公表する最新の事故情報)



The Association for Technical Aids(ATA)

21

2.最近の傾向(都道府県等から情報提供された事故・ヒヤリハット)



The Association for Technical Aids(ATA)

22

福祉用具等の利用にかかわるヒヤリハット情報の提供

福祉用具等の利用にかかわる事故及びヒヤリハット情報について、協会ホームページを通じて、広く情報発信している。

事例を探す

フリーワード 単位: 日 月 年 検索

全件表示
新しい事例

1月16日時点 421件
※新しい事例は令和7年度に追加・見直しされたものです

利用シーン から探す

配置・就寝 移動 立ち回り 移動
排泄 入浴 食事 整容
コミュニケーション リモコン操作 階段の乗り降り 外出
乗り物 洗濯 その他

主な 利用場所 から探す

居室 リビング・居間 ダイニング・食卓 トイレ
浴室・脱衣所 廊下 階段 玄関
ドア・自動ドア 段差・縁石 坂道 路地
車内 エレベーター エスカレーター その他

169件の結果があります

Case 1
下に落ちたモノを救助しようと、席から転落しそうになる
1月16日時点 421件
この事例は、ヒヤリハット情報として掲載されています。事故は発生していませんが、万一の事故を防ぐために、この事例を掲載しています。

Case 2
フラットサポートを誤って使用して、床から転落しそうになる
1月16日時点 421件
この事例は、ヒヤリハット情報として掲載されています。事故は発生していませんが、万一の事故を防ぐために、この事例を掲載しています。

Case 3
わずかな段差を乗り越えようとして、席から転落しそうになる
1月16日時点 421件
この事例は、ヒヤリハット情報として掲載されています。事故は発生していませんが、万一の事故を防ぐために、この事例を掲載しています。

Case 4
利用者の足がフラットサポートから落ちてしまい、床に落ちそうになる
1月16日時点 421件
この事例は、ヒヤリハット情報として掲載されています。事故は発生していませんが、万一の事故を防ぐために、この事例を掲載しています。

Case 5
利用者の足がフラットサポートから落ちてしまい、床に落ちそうになる
1月16日時点 421件
この事例は、ヒヤリハット情報として掲載されています。事故は発生していませんが、万一の事故を防ぐために、この事例を掲載しています。

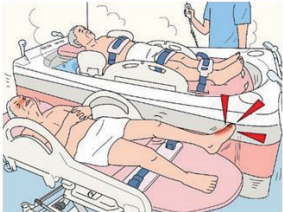
テクノエイド協会ホームページ ヒヤリハット情報 <https://www.techno-aids.or.jp/hiyari/>
The Association for Technical Aids(ATA)

23

重大事故に繋がる恐れのある事例

○入浴担架・おむつ交換台

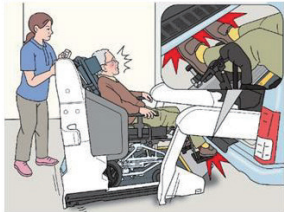
昇降式の機械浴槽で、両側にストレッチャーを接続して2名同時に入浴を行っていたところ、片方の入浴で浴槽を上昇させた際、反対側の利用者の足を挟み込んでしまった



機械浴槽の左右にストレッチャーを接続して2名の利用者を同時に入浴助する場合、各々の介助者が反対側の利用者の姿勢などに注意を払う必要があることから、慎重な安全確認を求められます。浴槽から離れた箇所で洗身し、湯につかる時に浴槽に接続するなど手順を見直すことで安全性を高めることが出来ます。また、ストレッチャーから足が出ていること自体が安全ではないという認識も必要です。

○自動車用車いすリフト

リクライニング車いすのフットサポートを上げたままリフトを上昇させたところ、車両後端部に足先を挟み込みそうになった



膝が曲がりにくい本人の身体状況、車いすの形状、リフトの大きさや昇降時の固定装置の有無などさまざまな条件が関係しますが、結果として重大な事故につながりかねない事象です。リクライニング車いすは全長が長くなるのでリフトを利用する時には可能な限りフットサポートは降ろし、操作中は常に目視確認するなど注意が必要です。リフトに車いすの固定装置がある場合には固定してから昇降操作を行うと危険の回避にもつながります。

○電動三・四輪車

踏切内の通路横に設けられたスペースではレールの隙間が広いことに気づかず、対向の自転車をやり過ごそうとして脱輪してしまう



踏切内の通路では線路部分が広がっている場合があり、歩行者や自転車のすれ違いの際に退避場所として利用することもあります。このような箇所ではレールの隙間が広くあり、また車いすの運転者からも死角で見えづらいことから、容易に脱輪してしまうことが考えられます。踏切内でのすれ違いは極力避け、対向する人や車と十分な距離を確保して、安全な領域を通行できるように、譲り合って横断しましょう。

24

○電動三・四輪車

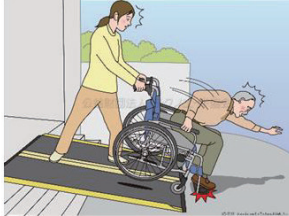
ハンドル型電動車を操作中、集合住宅の上層階で、エレベータに向けて方向転換しようとしていたところ、誤って階段部分に脱輪、転落しそうになる



歩行の困難さや充電のため、集合住宅にある自宅の玄関先までハンドル型電動車を移動する必要があったのだと考えられます。階段付近などで切り返しを行なう際、ハンドルに取り付けられたバックミラーでは後進方向や床面の状況が映らず確認できません。狭いスペースで方向転換をする場合、とりまわしの練習などで安全を確認した上で納品し、日々の利用では介助者に後方を確認してもらうなど、十分に注意しましょう。

○携帯用スロープ

前向きで下りたため、フットサポートが地面にぶつかってしまった



スロープを下りるときには、車いすを後向きに介助することが基本です。それは万が一このような事象が起こっても、利用者が転落することを防げるという観点からです。どうしても前向きに介助したい場合は、フットサポート下の隙間が路面に干渉しないことを確認しましょう。

○見守り機器

心拍や呼吸を読み取るセンサーを利用して入居者が臥床しているのに離床と表示されたが、重大なことに認識せずに対応しなかった



心拍や呼吸を読み取るセンサーでは、それらが読み取れない状態を離床と判断し表示するケースがあります。入床しているにもかかわらず離床と表示されている場合は心拍や呼吸が停止している状態を示し、亡くなっていることも考えられ、入室してベッドサイドで状態を確認すべきです。見守りセンサーの利用では、機器の特性を理解し状態に応じて訪室での確認を必須にするなどマニュアル化しておくことも重要です。

25

The Association for Technical Aids(ATA)

福祉用具ヒヤリハット事例集 電子書籍 (421事例)



2 対向する自転車と避けようとする隙間に脱輪した

車いすの奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。



利用シーン 移動・外出
CCTA55 122124

原因 奥部の奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。

- 対策 1. 奥部の奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。
- 対策 2. 奥部の奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。
- 対策 3. 奥部の奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。
- 対策 4. 奥部の奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。
- 対策 5. 奥部の奥部には補助輪が取り付けられている場合が多いが、歩行時や転倒の際に奥部に補助輪が引っ掛かり、脱輪してしまうことがある。

8 福祉車両のスロープ上に前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる

福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。



利用シーン 移動・外出
CCTA55 183015 / 122103

原因 福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。

- 対策 1. 福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。
- 対策 2. 福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。
- 対策 3. 福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。
- 対策 4. 福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。
- 対策 5. 福祉車両のスロープに前輪を乗せて目を離したら後方に転倒しそうになる。

11 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた

介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。



利用シーン 介護・看護・看護
CCTA55 181209

原因 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。

- 対策 1. 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。
- 対策 2. 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。
- 対策 3. 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。
- 対策 4. 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。
- 対策 5. 介護ベッドのキャスターが誤った位置に取り付けられており、足をぶつけた。

12 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった

入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。



利用シーン 介護・看護・看護
CCTA55 215190

原因 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。

- 対策 1. 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。
- 対策 2. 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。
- 対策 3. 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。
- 対策 4. 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。
- 対策 5. 入床している利用者のセンサーが離床状態を示していたが、確認対応しなかった。

26

The Association for Technical Aids(ATA)

福祉用具・介護テクノロジーの安心・安全な利用を推進するための冊子(仮称)の作成

Q2 事故やヒヤリハットはなぜ起きるのですか？



そもそも、事故やヒヤリハットはなぜ起きるのですか？

事故やヒヤリハットは、一つの原因だけでなく、複数の要因が重なった時に起きます。

「原因」とは、凶犯や被害者・加害者を引き起こした事柄です。「要因」とは原因を生み出す背景・環境・特徴などの条件です。「原因」は「介助者の操作ミス」であっても、その原因を生み出した要因は複数あるため、原因だけに目を向けず責任を及ぼしても再発は防止できません。複数ある要因の一つひとつに手を打つ必要があります。「操作ミス」が起きやすい要因は何か」を整理することが安全につながります。

スイスチーズモデル

私たちの活動するこの世界は、人の“うっかり”、道具の故障、雨風や明るさなど事故やヒヤリハットを生み出す要因にあふれています。それらの要因はスイスチーズに空いた穴のようなもので、事故を予防するための対策や注意をチーズに例えると、どれも穴弁きではなく、いくつもの小さな穴（弱点）が空いているのが普通の姿です。

-

複数の穴（事故に至る要因）の内、ひとつでも閉じていれば事故にはならなかった…。でも、どの穴（対策の不備）が事故につながるかわからない。

事故・ヒヤリハット事例から福祉用具・介護テクノロジーの安全な利用を考える | 00

考えられる主な対策

- 画面上の注意喚起、ペッド上での不良表示について、実際にペッドで体験しながらその内容を学ぶ。
- 画面上の注意喚起を学び、皮膚病態に対する力のかけ方の重要性について学び、共有する。
- 長身ご利用者で足先が接触しやすい場合には、フットボードを外すなど接触しない工夫をする。
- 画面上操作の前に促している位置を確認しやすいような印をペッドに付けておく。
- ほかの職員も同様の介助をしており、良くないことは発現していないが同調してしまった。
- 「接触領域実行」の注意喚起が表示すると、接触に気づきやすくなる環境を作る。

利用のポイント

ベッドでの
上げ下ろし操作の姿勢づくりのポイント

●ベッド上で安定した姿勢を作るためには、臀部から大腿部を支えるロフトムの長さとし、利用する人の臀部から膝関節の長さで適合していることが求められます。適合しない場合はクッションなどで微調整します。

ベッド上で身体を動かして圧迫を回避することができ
ます。受動の循環を助けるために、定期的に両腕を
肩に、遠くまで手を伸ばすの間に介助者の助けを
確認してください。

肩上げ操作を事前に覚えている重要な練習は、肩
と腕の角度と足関節の位置を合わせられるのを
行います。スライドリグレットを合わせられるよう
に。

- 患者に膝上を、次に肩上げを完了する手順が
大切です。
- 自分で圧迫を受けたくない利用者は、両膝と
両腕を肩に手を組んで確認してください。
- 両腕が肩より肩の中心はフックを発生する
と決定されます。
- 肩を上げる操作でもそれが発生するのを、肩
下腕に一定に圧力位置にするためにマット
下のクッションを間接的に、摩擦を助けることが
あります。

事故・ヒヤリハット事例から福祉用具・介護テクノロジーの安全な利用を考える | 00

介護テクノロジーの開発・導入助成制度の調査

介護テクノロジーに係る助成について、開発企業に役立つ情報(シーズ側)と、介護施設に役立つ情報(ニース側)の双方の側面から全国調査を行い、その結果を都道府県ごとにまとめた。



○開発助成制度の調査結果: 74件

No.	都道府県	掲載件数	No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	4件	26	京都府	0件
2	青森県	3件	27	大阪府	1件
3	岩手県	1件	28	兵庫県	1件
4	宮城県	1件	29	奈良県	1件
5	秋田県	2件	30	和歌山県	0件
6	山形県	2件	31	鳥取県	0件
7	福島県	7件	32	島根県	2件
8	茨城県	1件	33	岡山県	1件
9	栃木県	1件	34	広島県	2件
10	群馬県	2件	35	山口県	1件
11	埼玉県	1件	36	徳島県	0件
12	千葉県	1件	37	香川県	3件
13	東京都	3件	38	愛媛県	0件
14	神奈川県	5件	39	高知県	0件
15	新潟県	1件	40	福岡県	2件
16	富山県	3件	41	佐賀県	1件
17	石川県	2件	42	長崎県	0件
18	福井県	1件	43	熊本県	1件
19	山梨県	4件	44	大分県	1件
20	長野県	1件	45	宮崎県	0件
21	岐阜県	1件	46	鹿児島県	0件
22	静岡県	4件	47	沖縄県	0件
23	愛知県	1件	48	全 国	2件
24	三重県	2件			
25	滋賀県	1件			

※令和7年11月時点

○導入助成制度の調査結果: 72件

No.	都道府県	掲載件数	No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	4件	26	京都府	2件
2	青森県	1件	27	大阪府	2件
3	岩手県	4件	28	兵庫県	2件
4	宮城県	2件	29	奈良県	1件
5	秋田県	1件	30	和歌山県	2件
6	山形県	2件	31	鳥取県	1件
7	福島県	2件	32	島根県	1件
8	茨城県	1件	33	岡山県	2件
9	栃木県	1件	34	広島県	1件
10	群馬県	2件	35	山口県	1件
11	埼玉県	3件	36	徳島県	1件
12	千葉県	2件	37	香川県	1件
13	東京都	1件	38	愛媛県	1件
14	神奈川県	4件	39	高知県	1件
15	新潟県	1件	40	福岡県	3件
16	富山県	2件	41	佐賀県	1件
17	石川県	2件	42	長崎県	1件
18	福井県	1件	43	熊本県	1件
19	山梨県	1件	44	大分県	1件
20	長野県	1件	45	宮崎県	1件
21	岐阜県	1件	46	鹿児島県	2件
22	静岡県	1件	47	沖縄県	1件
23	愛知県	1件			
24	三重県	0件			
25	滋賀県	1件			

※令和7年11月時点

The Association for Technical Aids(ATA)

テクノイド協会ホームページ 介護テクノロジー等の開発・導入助成制度の調査
https://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab37_detail

31

開発・導入助成調査の実施結果 個票例

【開発助成制度 調査結果】企業が開発に役立つ助成制度を閲覧できる

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R7予定	R6実績	連絡窓口
1	令和7年度青森県介護介護関連ビジネス開発促進事業費補助金	青森県	青森ライフインベション戦略アクションプラン[2021-2025]に基づき、県内の事業者等が行う医療又は介護関連製品(機器・システム)の開発、改良又は公的保険外サービスの創出に係る支援に要する経費について支援	県内に事業所を有する中小企業者等	補助対象経費の2分の1に相当する額又は50万円のいずれか低い額以内の額(要終了)	令和7年10月20日～	採択件数: 2件 総額(予定): 1,000,000円	採択件数: 4件 総額: 1,819,028円	部署 経済産業部産業イノベーション推進課 担当 小林 電話番号 017-734-9420 FAX番号 E-mail innovation@pref.aomori.jp HP_URL https://www.pref.aomori.lg.jp/ssshiki/sangyo/innovation/R7hojokin_#shukoku.html

【導入助成制度 調査結果】施設が導入する際に役立つ助成制度を閲覧できる

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R7予定	R6実績	連絡窓口
1	ICT等を活用した介護現場生産性向上支援事業(介護支援ロボット導入促進)	福島県保健福祉部高齢福祉課	高齢者介護施設・事業所等における福島県産介護支援ロボットの導入に対し、費用の一部を補助する。	福島県内の高齢者施設・事業所等	対象機器は公募により決定 令和7年度は以下の機器を予定 ・「移動です」II ・ マッスルスーツEXO-POWER/Soft-Power ・ 離床センサーAISH ・ Fitcare-i・NexusBaseDX	令和7年10月20日～	総額(予定): 11,157千円	採択件数: 22件 総額: 1,396千円	部署 福島県高齢福祉課 担当 小林 電話番号 024-521-7533 FAX番号 024-521-7748 E-mail kaigorobot@pref.fukushima.lg.jp HP_URL https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21025c/kaigorobotfourunshukushin.html

The Association for Technical Aids(ATA)

32

介護テクノロジー導入支援事業 実態調査の実施

拡充

介護テクノロジー導入支援事業（地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分））

老健局高齢者支援課（内線3875、3876）

令和7年度当初予算額 地域医療介護総合確保基金（介護従事者確保分）97億円の内数（97億円の内数）※①内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 介護人材の確保が喫緊の課題とされる中で、介護ロボットやICT等のテクノロジーを活用し、業務の改善や効率化等を進めることにより、職員の業務負担軽減を図るとともに、生み出した時間を直接的な介護ケアの業務に充て、介護サービスの質の向上にも繋げていく介護現場の生産性向上を一層推進していく必要がある。
- 職場環境の改善等に取り組む介護事業者がテクノロジーを導入する際の経費を補助し、生産性向上による働きやすい職場環境の実現を推進する。

※下線部分は令和7年度までの拡充分。太字は更に今回変更する部分。

2 補助対象

- 【介護ロボット】
 - 「介護テクノロジー利用における重点分野」（令和7年度より改定）に該当する介護ロボット（カタログ方式を導入）
- 【ICT】
 - 介護ソフト、タブレット端末、インカム、クラウドサービス 業務効率化に資するバックオフィスソフト（転記等の業務が発生しないことの環境が実現できている場合に限り）等
- 【パッケージ型導入】
 - 見守り機器等の複数のテクノロジーを連動することで導入する場合に必要な経費
- 【その他】
 - 第三者による業務改善支援等にかかる経費

※看護老人ホーム等を対象に追加

3 補助要件等

介護ロボットのパッケージ型導入モデル、ガイドライン等を参考に、課題を抽出し、生産性向上に資する業務改善計画を提出の上、一定の期間、効果を確認できるまで報告すること

第三者による業務改善支援又は研修・相談等による支援を受けること

（入所・泊まり・居住系）利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に資する方策を検討するための委員会を設置すること

（在宅系）令和7年度内にケアプランデータ連携システムの利用を開始すること

【介護ロボット】		【ICT】		【パッケージ型導入】	
区分	補助額	補助台数	補助額	補助台数	補助額
○移乗支援 ○入浴支援	上限100万円	必要台数	●1～10人 100万円 ●11～20人 150万円 ●21～30人 200万円 ●31人～ 250万円 ※職員数により変動しない場合は一律250万円	必要台数	上限400～1,000万円
○上記以外	上限30万円				必要台数

補助率 以下の要件を満たす場合は3/4を下限（これ以外の場合は1/2を下限）

共通要件 ●職場環境の改善を図り、収支が改善された場合、職員賃金への還元することを導入効果報告に明記

●第三者による業務改善支援を受けること

介護ロボット ●見守り・インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用すること（入所・泊まり・居住系に限る）
●従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うこと
●利用者のケアの質の維持・向上や職員の負担軽減に資する取組を行うことを予定していること

ICT ●（在宅系）・ケアプランデータ連携システムを利用し、かつデータ連携を行う相手となる事業所が決定していること（それ以外）以下のいずれか
●LIFE にデータを提供している又は提供を予定していること
●文書量半減を実現させる導入計画となっていること

パッケージ型導入 ●介護ロボット・ICTの要件をいずれも満たすこと。ただし、ICT（それ以外）に記載の要件は全て満たすこと

4 実施主体、実績

事業	R1	R2	R3	R4
介護ロボット導入支援事業（計1）	1,813	2,297	2,720	2,930
ICT導入支援事業（計2）	195	2,560	5,371	5,075



The Association for Technical Aids(ATA)

33

介護テクノロジー導入支援事業 実態調査の実施

令和6年度の調査結果



1 介護ロボットに関する導入支援事業等の取組の実態調査等

(1) 調査目的

介護ロボットの活用を促進するためには現在の導入実態を把握することが重要である。そこで、都道府県における介護ロボットに関する導入支援事業等の取組の実施状況について調査を実施した。

(2) 実施概要

調査対象：47都道府県の介護ロボットに関する導入支援事業等所管部署

実施方法：電子メールより調査票送付。電子メールにて回収

調査期間：令和6年12月4日（水）～令和7年1月10日（金）17：00

回収件数：47件

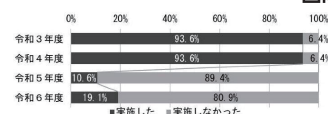
(3) 調査結果

令和5年度及び6年度は介護ロボットの導入に原する支援事業へ活用できる財源が確保存在したことから、本調査では支援事業の実施有無と共に、「実施した」場合にはその財源を回答いただいた。また、本調査における集計は地域医療介護総合確保基金による実施した支援事業（ICTは除く）のみを対象とするため、介護ロボット導入支援事業、あるいは、介護テクノロジー導入支援事業を「実施した」と回答した都道府県のみを集計し、その他の回答（『令和5年度修正予算による「介護サービス事業の生産性向上や効率化等を通じた職場環境改善事業」を実施した。』『新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金』などの他財源による「介護ロボット導入支援事業」を実施した。』『実施しなかった』については、全て「実施しなかった」に集約し、詳細な集計からは除いた。

①地域医療介護総合確保基金による令和6年度「介護テクノロジー導入支援事業」の実施状況

a) 介護テクノロジー導入支援事業の実施状況
令和6年度は9件で地域医療介護総合確保基金による介護テクノロジー導入支援事業が実施された。『実施しなかった』という回答は38件あり、その理由は地域医療介護総合確保基金以外の財源で介護ロボットの導入支援事業を実施したというものであった。

	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	44	93.6%	44	92.6%	6	10.0%	9	19.1%
実施しなかった	3	6.4%	3	6.4%	42	89.4%	38	80.9%
合計	47	100%	47	100%	47	100%	47	100%



b) 来年度の実施予定

令和6年度に介護テクノロジー導入支援事業を実施した9件を対象に、来年度の実施予定と実施内容を検証したところ、来年度の実施予定については、7件が「来年度実施を予定している」と回答した。また、4件は「今年と同様に実施」、3件は「内容をより充実させて実施」と回答した。

【来年度の実施予定（今年度事業を実施した都道府県のみ回答）】

割合	回答数	割合
来年度実施を予定している	7	77.8%
実施の予定はない	2	22.2%
合計	9	100%

【来年度、どのように実施するか（今年度事業を実施した都道府県のみ回答）】

回答数	割合
今年と同様に実施	4 44.4%
内容をより充実させて実施	3 33.3%
テーマ、分野を絞って実施	0 0.0%
実施しない	2 22.2%
合計	9 100%

【「内容をより充実させて実施」と回答した場合の具体的な内容（主な回答）】

- ・予算規模及び補助上限額の拡大等。
- ・国の拡充に合わせて実施。
- ・単純増額及び対象機器の拡大を検討。

The Association for Technical Aids(ATA)

34

2025年1月～、介護テクノロジー導入支援事業の補助対象機器 厚生労働省が行う導入支援の対象となりうる製品情報の収集・提供

参考情報

介護テクノロジーのカテゴリから探す NEW!

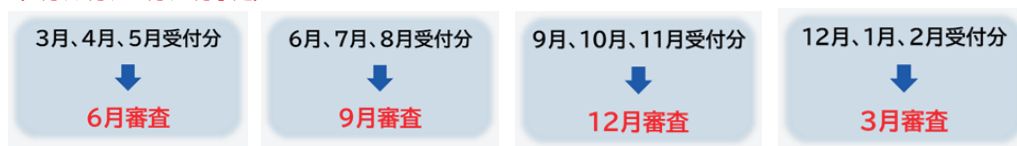


福祉用具を探す
サイト



3ヶ月に1度、検討委員会の開催
(6月、9月、12月、3月予定)

福祉用具情報システム(TAIS) 登録受付 毎月 5日締切り



The Association for Technical Aids(ATA)

35

介護テクノロジーの製品情報

株式会社Z-Works
ライブコネクト (ボタン・カメラセットS23) v3
ZGW-ZW2000-PS23

分機コード
215191

TAISコード
02274-000043

発売年月
令和6年10月

詳細へ

株式会社Z-Works
ライブコネクト (カメラセットS24) v3
ZGW-ZW2000-PS24

分機コード
215191

TAISコード
02274-000044

発売年月
令和6年10月

詳細へ

東海エレクトロニクス株式会社
Silver Shield
MKT-SILVERSHIELD-001

分機コード
215191

TAISコード
02284-000001

発売年月
令和6年10月

詳細へ

株式会社Z-Works
トイレ利用記録システム トイレボ
DL-0001A1A

分機コード
900000

TAISコード
02189-000001

発売年月
令和5年3月

詳細へ

**介護テクノロジー
マーク表示**

**試用貸出
マーク表示**

The Association for Technical Aids(ATA)

製品概要

株式会社Z-Works
ライブコネクト (ボタン・カメラセットS23) v3
ZGW-ZW2000-PS23

TAISコード
02274-000043

分機コード
215191

発売年月
令和6年10月

詳細へ

製品概要

株式会社Z-Works
ライブコネクト (カメラセットS24) v3
ZGW-ZW2000-PS24

分機コード
215191

TAISコード
02274-000044

発売年月
令和6年10月

詳細へ

製品概要

東海エレクトロニクス株式会社
Silver Shield
MKT-SILVERSHIELD-001

分機コード
215191

TAISコード
02284-000001

発売年月
令和6年10月

詳細へ

製品概要

株式会社Z-Works
トイレ利用記録システム トイレボ
DL-0001A1A

分機コード
900000

TAISコード
02189-000001

発売年月
令和5年3月

詳細へ

仕様・機能・性能等

項目	内容
用途	高齢者の安全確認
設置場所	居室
セット内容	ボタン・カメラ
サイズ	約100mm×100mm
重量	約100g
材質	ABS樹脂
電源	充電式
充電時間	約10時間
使用時間	約10時間
接続方法	Bluetooth
対応OS	Android

36



ご清聴、ありがとうございました

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 伊東 由恵

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
セントラルプラザ4階

TEL 03-3266-6883
E-MAIL itou@techno-aids.or.jp